

令和5年12月15日

佐野市議会議長 川 嶋 嘉 一 様

厚生常任委員会委員長 横 井 帝 之

厚生常任委員会 行政視察報告書

1. 期 日 令和5年10月31日（火）及び11月1日（水）
2. 視察地及び視察事項
 - (1) 山梨県中央市
高齢者保健福祉計画 第8回期介護保険事業計画について
 - (2) 愛知県みよし市
令和5年度版みよし市の子育て施策について
3. 派遣委員
横井帝之委員長、蘆原政夫副委員長、飯田昌弘委員、小暮博志委員、菅原 達委員
4. 随行者 議事課議事調査係 本島

5. 視察概要

(1) 山梨県中央市

中央市の概要

- ・人口 30,673人
- ・面積 31.69km²
- ・政務活動費 議員1人当たり月額10,000円

視察概要 高齢者保健福祉計画、第8期介護保険事業計画について

○内容

要介護の入り口、ソーシャルフレイルを防ぐために、加齢とともに心身の機能が低下し健康と要介護の中間の状態になると介護状態になる可能性が高い。

地域とのつながりが失われ、生活範囲が狭くなり、活動量が減少することでさらに心身の機能低下が加速することにならないための様々な事業についての説明を受けました。

○認知症政策

- 1、認知症に関する理解の促進
- 2、早期診断・早期対応
- 3、地域での生活を支えるサービスの構築
- 4、地域での生活を支える介護サービスの充実
- 5、地域での日常生活・家族支援に強化

○所感

中央市のソーシャルフレイルを防ぐことはなぜ大切？人とのつながりが希薄になっていくと様々な事への興味関心が失われます。その状態が続くと食欲不振や運動機能の衰退、認知機能低下などを引き起こし、自立した生活をするのが困難になります。

社会参加することは、健康維持や認知症予防に繋がり健康寿命を延ばすために重要です。

通いの場があること、多趣味な高齢者は死亡リスクが低い。他者と一緒に笑う人は要介護リスクが低い。このような事を市民の方々と共に活動していることがとても素晴らしいと感じました。

佐野市でも、参考にさせていただければと思います。

(2) 愛知県みよし市

みよし市の概要

- ・人口 61,403人
- ・面積 32.403km²
- ・政務活動費 議員一人当たり年額180,000円

視察概要 こども施策・子育て施策について

○内容

こども施策を加速し、市民にみよし市で子育てしたい、子育てして良かったと言ってもらえるよう、また、みよし市に生まれて育って良かったと多くの市民に心の底から思ってもらえるよう様々な施策について説明を受けました。

○子育て施策

- 1、みよし未来18応援金（ハピハピ18）
- 2、保育料と給食費の無償化
- 3、児童特別給付金

- 4、子育て見守り訪問
- 5、保育園でのオムツ定額サービス
- 6、病児病後児保育
- 7、育児休業に伴う退園措置の廃止
- 8、給食材料費物価高騰対策（幼稚園、保育園、小学校、中学校）

○所感

みよし市で子育てしたい、子育てして良かった、みよし市に生まれて育って良かった。とても良い言葉、思いと感じました。妊婦健康診査費用助成事業からこども計画策定事業まで、23の事業に分かれており、産前から乳幼児までの支援、乳幼児から小学校入学までの支援、小学生から中学生までの支援、高校から大学までの支援があります。

佐野市でも参考にさせていただければと思いました。